

青少年の自立を支える会 通信

第2号 平成9年8月26日

発行/青少年の自立を支える会

所在地/宇都宮市南大通り4-2-18

☎・FAX 028(651)0161

発行責任者/伊達悦子

編集責任者/福田雅章

〔活動報告〕

1 設立総会について

7月19日(土)に、とちぎ健康の森で「青少年の自立を支える会」の設立総会が約100名の会員の方の出席を得て開催され、会則、事業計画・予算等の議事が承認されました。

また、今後、支える会を運営していく役員、運営委員、事務局員が選任され、代表には、伊達悦子/作新学院女子短期大学教授が選出されました。

5月の「初めての集い」から、約2ヵ月、会員も300名を超え、支援の輪が広がっています。総会の中でも、当面の事業の中心となる『自立援助ホーム』についての質問が多数出され、関心の高さを感じました。

質問の中から、いくつか御紹介します。

Q1 「自立」というのは、何を指すものなのか？

A: 経済的なもの。生活技能の取得を指している。

Q2 自立援助ホーム利用者は、負担金(月額30,000円)を払えるのか？

また、払えない場合は救わないのか？

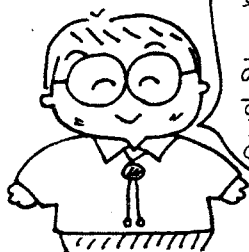
A: 本人の状況により払えないときは、無理に徴収しない。その場合は、会から支出するようにし、働いて、あとで返済してもらうことを考えている。

Q3 就労していない入居者の、日中の生活はどうなるのか？

A: 就労のための活動をする。具体的には、スタッフと共にハローワークに行くなど。

Q4 スタッフはだれがなるのかイメージできないが？

A: スタッフは、星さん(ホーム長)星さんの奥さん、そして、もう1名の宿泊ボランティア。そのボランティアは、現在、募集中。



このほかにも多くの質問がありました。

役員をはじめとしてみんなが参加し、運営する会にしていきたいと思っています。



設立総会の様子です。

2 設立総会後の活動について

設立総会後は、9月にスタートを予定している自立援助ホーム『星の家』の運営準備を進めています。

7月29日及び8月12日には運営委員会を開催、今後の事業の実施方法等についての検討を行いました。

また、8月10日には『星の家』への荷物の搬入と事務局会議が開かれ、伊達代表、星ホーム長及び事務局員により、今後の運営や役割分担について話し合いました。

とても暑い日でしたが、子どもたちにとって『星の家』が、どんな生活の場となるのかと思いながらの会議となりました。

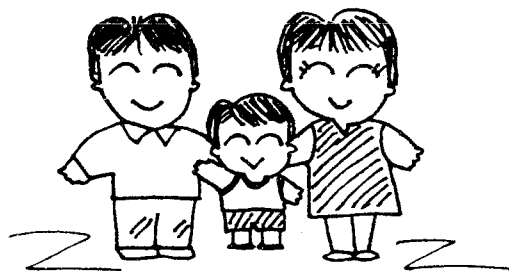
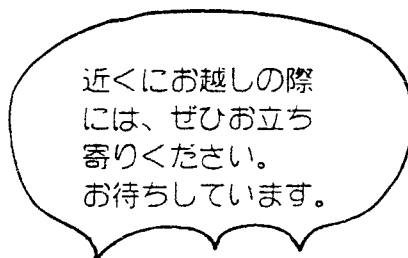
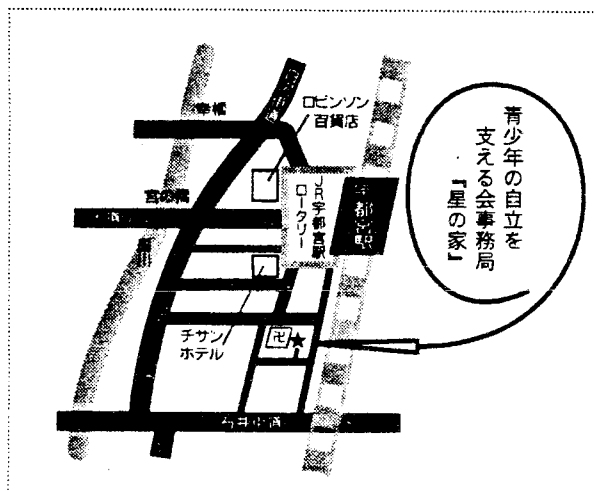
初対面の人も多く、運営体制は十分とは言えませんが、同じ目標に向かって、事務局一同がんばって体制づくりを進めていますので、よろしくお願いします。



上は女性、下は男性の『星の家』です！



《案内図》



3 会員・ボランティアの募集について

青少年の自立を支える会では、活動を支えてくれる会員、そして、スタッフ・ボランティアを募集しています。御協力をお願いします！

★会員大募集中！ 1口 5,000円です。

[郵便振替/宇都宮 00140-3-366972 名義/青少年の自立を支える会 (できれば2口以上でご支援を!)]

★スタッフ・ボランティアも募集中！

青少年の自立を支える会 事務局

☆☆☆☆★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

〒321 宇都宮市南大通り 4-2-18

自立援助ホーム「星の家」内

TEL・FAX 028 (651) 0161